

## 【地域密着型金融推進計画の進捗状況】

### 1. 全体的な進捗状況およびそれに対する評価

「事業再生・中小企業金融の円滑化」に関する項目については、融資部内に経営支援担当者を配置し、「経営改善計画書シミュレーションシステム」を活用した経営改善計画書策定支援による要注意債権等の健全債権化に取り組んだほか、企業信用格付システムを活用した無担保融資商品「オーナーズ」、および財務内容の精度が相対的に高い中小企業に対する融資商品「しんきん税理士紹介ローン」を発売、苦情等の実例を分析した事例集「苦情対応マニュアル集」を作成し苦情処理機能の強化を図りました。

「経営力の強化」に関する項目については、当金庫担保評価基準の妥当性の確認、企業信用格付および信用金庫業界の中小企業信用リスクデータベース(SDB)を活用した内部格付制度の整備等による信用リスク面での態勢強化、信金中央金庫による有価証券のポートフォリオ分析、個人情報保護法の施行にあわせた内部態勢の整備を行いました。

「地域の利用者の利便性向上」に関する項目については、利用者からの質問や相談等について頻度の高い項目についてホームページにて公表したほか、顧客満足度アンケートを実施し、その結果を経営方針に反映する態勢整備を図りました。

以上のとおり、平成18年3月末現在の全体的な進捗状況としては、計画に沿った進捗状況となっております。

### 2. 「地域密着型金融推進計画」の進捗状況

#### (1) 「事業再生・中小企業金融の円滑化」に係る取組み方針

融資審査能力(「目利き」能力)の向上を図るため、全国信用金庫協会等の業界主催の研修に参加し、企業の将来性などを的確に判断できる人材の育成を図ります。

全国信用金庫協会主催の「企業再生支援実践講座」に派遣したほか、庫内研修を実施し、企業の将来性などを的確に判断できる人材の育成を図りました。

しんきんビジネスクラブおよび中小企業ポータルサイト「しんきん経革広場」の利用推進等により、ビジネス・マッチング情報の提供など情報提供機能の一層の強化を図ります。

取引先に対して不動産情報を提供したほか、「しんきんビジネスクラブ」および「しんきん経革広場」においてビジネス・マッチング情報の提供等情報提供機能の強化に努めました。

「経営改善計画書シミュレーションシステム」等の利活用により要注意先債権等の健全債権化に向けた各種取組みへの一層の強化を図ります。

融資部内に経営支援担当者を配置するとともに、「経営改善計画書シミュレーションシステム」を活用した経営支援を実施したほか、営業店との連携を強化し、要注意先債権等の健全債権化に努めました。

既存包括根保証契約について、制度改正の趣旨を踏まえた適切な見直しを行うとともに、第三者保証の利用に当たっては、過度なものとならないよう更改いたします。

包括根保証契約を廃止し限定根保証契約に更改するなど、第三者保証のあり方の見直しを行いました。

企業信用格付の推進により審査業務の高度化を図り、担保・保証に過度に依存しない融資の推進を図ります。

しんきん情報システムセンター(SSC)の企業信用格付を活用し、高格付先について無担保当座貸越制度(オーナーズ)を創設し推進を図りました。  
財務諸表の精度が相対的に高い中小企業に対しては、「しんきん税理士紹介ローン」を創設し推進を図りました。

「顧客説明規定」等の見直しを行い、一層の説明態勢の整備および相談苦情処理機能の強化を図ります。

与信取引に関する顧客への説明態勢および相談苦情処理機能の一層の整備を図るため「与信取引説明規定」の一部改正を検討しました。  
「苦情対応マニュアル集」による早期対応・早期解決に取り組むとともに、防止策・改善策等の実例を分析した事例集を作成し、苦情処理機能の強化を図りました。

## (2)「経営力の強化」に係る取組み方針

不動産担保評価について、引き続き評価方法の合理性および評価精度について厳正な検証を行います。

不動産売買事例を収集して処分価格と担保評価額を比較、担保掛目の妥当性を確認しました。

信金中央金庫のALMシステム等の活用により、有価証券の価格変動等の市場リスク管理態勢について一層の整備を図ります。

信金中央金庫提供のALMシステムの活用により、市場リスク等管理態勢の整備を図りました。  
有価証券関係資料を信金中央金庫に提出し、ポートフォリオ分析およびALM分析を受け、今後の資金運用方針およびALM管理の強化に活用しました。

債務者区分と統合的な内部格付制度の構築をはじめ、リスクに見合った金利設定を行っていくための体制整備など、収益管理態勢の整備と収益力の向上に向けた取組みを推進いたします。

しんきん情報システムセンター(SSC)の企業信用格付を活用し、債務者区分と統合的な内部格付制度を構築しました。  
しんきん情報システムセンター(SSC)の企業信用格付と信用金庫業界の中小企業信用リスクデータベース(SDB)のスコアリングモデルを活用し、リスクに見合った貸出金の金利設定を行いました。  
貸出金収益確保と役務収益増強を目的に営業店別収益計画・実績分析を行い、収益力の向上を図っております。

部店内研修およびチェックリストの策定などにより、不祥事件等の発生の未然防止を図る法令等遵守状況の点検強化など、法令等遵守のための取組みを強化いたします。

コンプライアンス担当者を任命し、コンプライアンスプログラムに添った部店内研修の実施、コンプライアンスチェックリストの実施等を行い法令等遵守態勢の強化を図りました。  
内部監査を通して日常業務が規定や法令等遵守し適切に行なわれているか検証を行いました。

顧客情報管理に関して、個人情報保護法の施行を踏まえ、法令等の諸規定に基づき、より一層適切な管理・取扱いが確保されるよう取組みます。

全役職員を対象に個人情報保護法の通信講座を実施したほか、外部講師による「個人情報保護法とコンプライアンス」の集合研修を実施し、取組みの強化を図りました。

「個人情報の保護と利用に関する規定」、「個人情報保護に関する事務取扱要領」、「個人データの安全管理措置に関する規定」を制定し、個人情報の適切な管理の確保を図りました。

内部監査に個人情報保護の項目を加え検証を行いました。

個人データ管理台帳に則り管理状況の一斉実地検証を行いました。

(3)「地域の利用者の利便性向上」に係る取組み方針

利用者からの質問や相談等のうち頻度の高いもの等についての回答事例を作成しホームページで公表いたします。

質問や相談等の回答事例集を作成し、頻度の高い項目についてホームページで公表しました。

利用者満足度アンケート調査を実施し、経営に反映させる体制を確立いたします。

顧客満足度アンケート調査を実施し、その結果を経営に反映するなど態勢整備を図りました。

以上